

## 平成17年度事業報告

〔平成17年4月1日より  
平成18年3月31日まで〕

## 1. 会員の異動

本年度中の入会並びに退会及び会員数は次のとおりである。

	名誉会員	正会員	外国人会員	学生会員	賛助会員	計
平成17.3.31現在	33	4,601	242	272	300	5,448
入会	0	248	—	103	2	353
退会	0	229	44	147	24	444
転格	3	198 (-3)	※(-198)	—	—	201 (-201)
死亡	1	7	—	—	—	8
平成18.3.31現在	35	4,808	—	228	278	5,349

※17年度正会員へ

## 2. 役員、顧問、評議員の現員

理事 24名 (内、会長1名、副会長3名、常務理事7名)  
 監事 3名  
 評議員 93名

## 3. 総会

平成17年度第38回通常総会を次のとおり開催した。

日時 平成17年5月20日 午後3時より

場所 東京大学 山上会館

出席者数 2,484名 (委任状を含む)

議事または承認事項

1. 平成16年度事業報告について
2. 平成16年度収支計算書ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について
3. 平成17年度事業計画書(案)について
4. 平成17年度収支予算書(案)について
5. 名誉会員の推薦について
6. 評議員の追加について
7. 役員の一部改選について

## 4. 役員会並びに評議員会

理事会 7回

評議員会 1回

## 5. 機関誌刊行

「都市計画」	第254号	平成17年	4月25日
	第255号	平成17年	6月25日
	第256号	平成17年	8月25日
	第257号	平成17年	10月25日
	第258号	平成17年	12月25日
	第259号	平成18年	2月25日
「都市計画報告集」	No. 3	(CD-ROM)	平成17年 4月25日
「都市計画論文集」	No. 40-1	(CD-ROM)	平成17年 4月25日
「都市計画論文集」	No. 40-2・3	(CD-ROM)	平成17年10月25日
「都市計画論文集」	No. 40	(冊子)	平成17年10月25日

## 6. 学術研究論文発表会の開催

日 時	平成17年11月19日、20日
場 所	千葉大学西千葉キャンパス
研究発表	164題
参加人数	492名

## 7. 都市計画セミナー開催

日 時	平成18年1月19日、20日
場 所	早稲田大学国際会議場
題 目	中心市街地再生にむけた、まちづくり戦略をとらえる
参加人数	238名

## 8. 月例懇話会等の開催

月例懇話会		
第103回	「大地を揺るがした新潟県中越大震災の大きな爪痕と動き出した復興計画」	平成17年7月19日
第104回	「不動産ファイナンスの新潮流と開発型ファイナンス」	平成17年9月29日
第105回	「縮小都市時代の都市計画の新たな挑戦—ドイツの事例を中心に—」	平成18年2月20日
見学会		
第12回	「つくばエクスプレスに乗って“つくば田園都市”を見に行こう！」	平成17年10月14日

## 9. 海外向け「ニュースレター」の発行

No. 24 平成17年 7月

No. 25 平成18年 3月

## 10. 「都市計画文献リスト」の発行

平成17年 8月

## 11. 学会賞授与

### 石川賞

阪神・淡路大震災に関する著作およびまちづくり支援活動

近畿大学理工学部建築学科教授 安藤 元夫

繁華街の近代 都市・東京の消費空間

工学院大学工学部建築学科教授 初田 亨

中心市街地整備と一連の条例による金沢のまちづくり

金沢市市長 山出 保

### 論文賞

都市保全計画

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 西村 幸夫

### 論文奨励賞

地区を顕在化する都市再生手法の研究

—米国中西部ダウントウン・フリンジの再生戦略を中心に—

金沢工業大学環境・建築学部建築・都市デザイン学科専任講師 遠藤 新

EUにおける地域統合を契機とした空間計画制度の変容に関する研究

—EU およびアイルランド・イギリス・フランスの事例を通じて—

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手 片山 健介

建て替え誘導を通じた郊外既成ミニ開発住宅地の居住環境整備論

国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部主任研究官 勝又 済

近代日本における高等諸学校の立地と計画に関する研究

名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻助手 木方 十根

地方都市中心部の居住機能再構築に関する基礎的研究

長岡技術科学大学工学部環境・建設系助教授 樋口 秀

ネットワーク均衡モデルを応用した都市圏レベルの交通政策分析

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手 円山 琢也

開発途上国における市民社会と地域環境管理の相互作用的発展に関する研究

—タイ王国を事例として—

明星大学アジア環境研究センター特別研究員 松行美帆子

## 成熟都市の計画策定技法の探究

—米国諸都市のダウンタウン・プラン策定に見る方法と技術—

東京大学大学院工学系研究科国際都市再生研究センター特任研究員 村山 顕人

## 計画設計賞

泉ガーデンにおける交通結節点及び歩行者空間整備によるまちづくりへの貢献

東京都港区助役 永尾 昇

六本木1丁目西地区市街地再開発組合元理事長（現在 泉ガーデン自治会長）

青島 菊

住友不動産株式会社取締役専務執行役員 松井 久生

日建設計株式会社取締役常務執行役員 櫻井 潔

市民共同方式による醍醐コミュニティバスの実現

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻助教授 中川 大

まちひとづくり工房主宰 能村 聡

醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会代表 村井 信夫

## 功績賞受賞者

牛見 章 埼玉県都市計画地方審議会会長

岡本 堯生 (元) 東京都技監

河上 省吾 関西大学 教授

小島 重次 (財) 国際科学振興財団 主任研究員

## 国際交流賞受賞者

呂 鴻九 韓国・漢陽大学大学院院長

(Yuh Hong-Koo)

## 1 2. 研究調査実施

### 1. 21世紀学会ビジョン実現特別委員会

研究プロジェクト、実務者連携、市民連携、情報交流の4つの小委員会を設け、活発な活動を展開した。

### 2. 新潟中越地震災害復興調査特別委員会

昨年に引き続き調査活動を行い、報告会を開催した。

## 1 3. 学際的・国際的学術交流

1. 中国城市规划学会より年次総会（9月25日西安市で開催）への出席要請（招待）があり、2名が参加した。また12月には同学会派遣の日本視察団に対応した。

2. 第12回国際都市計画シンポジウムを開催した。

日 時	平成17年10月7～10日
場 所	韓国濟州市 Hanwha Resort
メインテーマ	Heritage、Culture、Uniqueness
参加人員	32名 (学会員)

#### 14. 委員会活動

受託研究調査に関して下記の委員会を設置し、実施した。

- ・ 地権者の協調・共同によるまちづくり事業の枠組みに関する調査委員会
- ・ 西岐阜駅周辺のまちづくり構想策定委員会
- ・ 大手町再生プロジェクト調査検討委員会
- ・ 新しい時代潮流に対応した都市計画のあり方に関する調査委員会
- ・ 都心研究会
- ・ K地区再開発検討委員会

#### 15. 支部活動

中部・関西・九州・中国四国の各支部はそれぞれ総会を開催し、交流を深め、地域に応じたテーマで講演会、見学会、研究発表会等を企画し、活動した。